

FUEL FILTER

フューエルフィルター

水抜きとエア抜きでエンジン快調。燃料消費効率も高める。
燃料の完全燃焼は、燃料消費効率を高めると同時に、
排気ガス中の有害物質を最小限に抑える



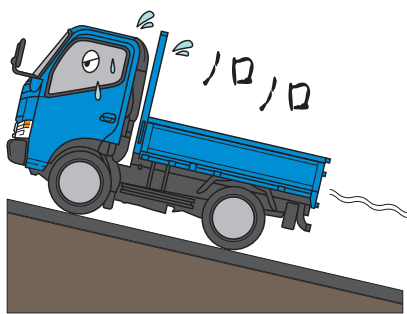
フィルターの早期交換を

シリンダ内で最も効率よく混合気を燃焼するには、燃料中に混入、発生する異物や水分を除去する必要があります。この役目を担うのがフューエルフィルターです。エンジン性能や燃料消費効率を向上させ、さらに排気ガス中の有害成分を最小限に抑えるためにもフィルターの早期交換に努めましょう。

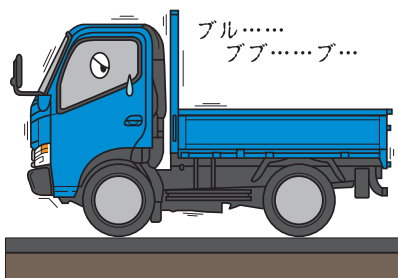
※交換の時期は整備手帳を参照してください。



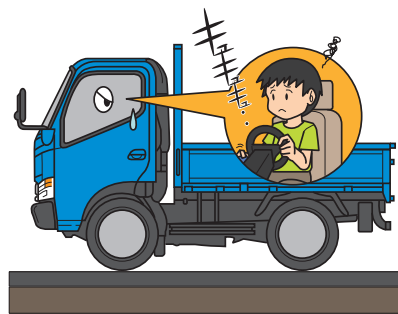
フィルターの目詰まりによる症状例



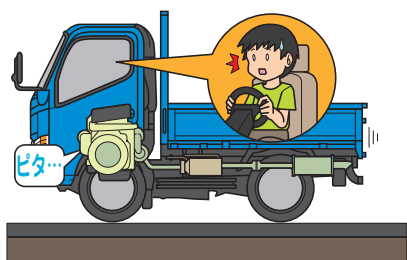
●出力不足、ノッキング



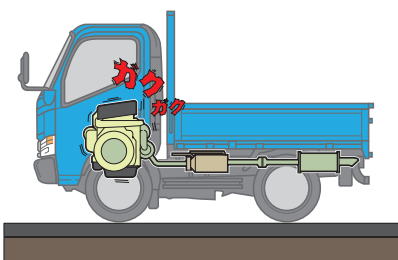
●アイドリング不調



●エンジンの始動不能または困難



●突然のエンジン停止



●エンジンの異常振動の発生

不正軽油の使用による原動機の保安基準不適合状態について

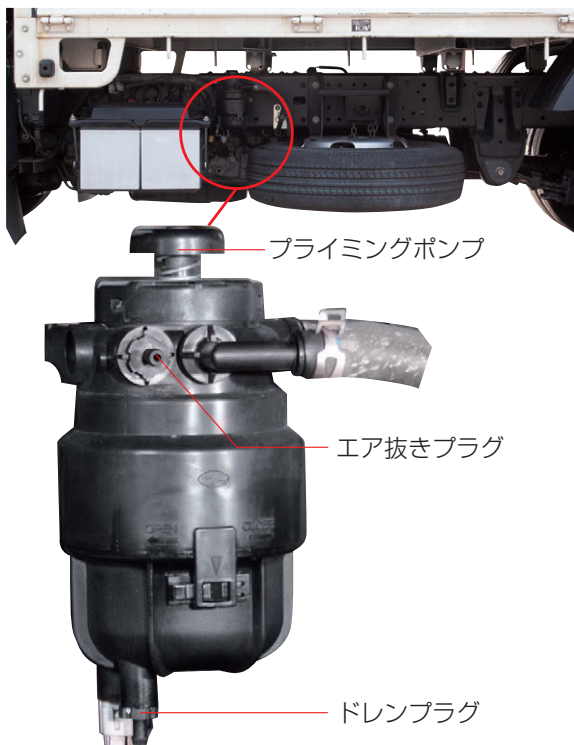
軽油に重油を混合したいわゆる不正軽油(規格外燃料)には、重油に含まれるタール状の物質が存在しています。自動車のエンジンでは燃料の噴射に高度な電子制御が行われており、このようなエンジンを保護するため、燃料フィルターには極めて目の細かい物が使われています。このため、不正軽油を使用し続けた場合、タール状の物質により燃料フィルターが目詰まりを起こし、原動機の始動が著しく困難になる等、走行に支障をきたす状態になります。

エア抜きと水抜きはディーゼル車の必須項目

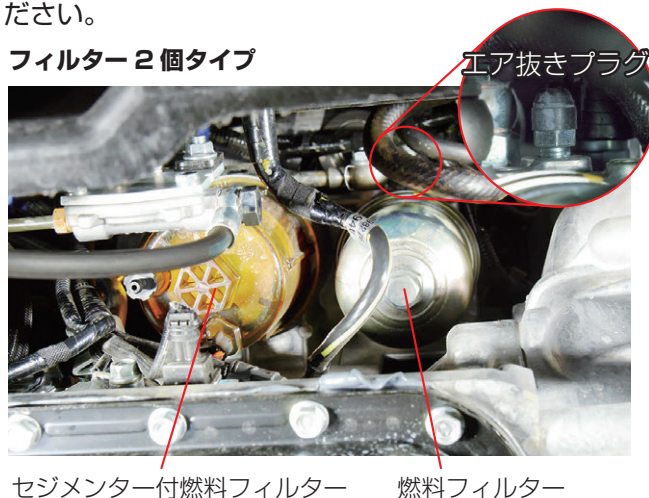
フィルター交換時には必ずエア抜きを行ってください

フィルター交換時にはエアが混入します。エアが混入していると燃料が十分に供給されずにエンジン不調の原因となります。車種ごとの規定に従い、必ずエア抜きを行ってください。

フィルター 1 個タイプ



フィルター 2 個タイプ

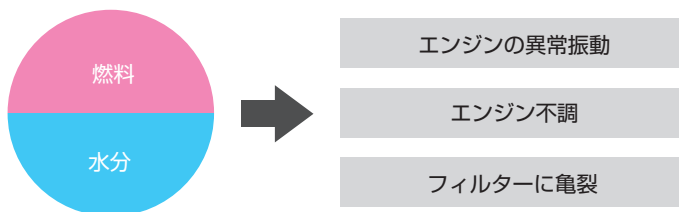


エア抜き方法例

1. プライミングポンプを引き上げ、エア抜きプラグを緩める。
2. プライミングポンプを数回おし、バルブから燃料とともに気泡(エア)を抜きます。
3. 気泡が出なくなり燃料だけが噴出するようになったら、ポンプを元に戻し、プラグを閉める。

水抜きを怠るとフィルターに水分がたまります。

ディーゼル車はエンジンの特性上、水分を嫌うため定期的なフィルターの交換と水抜きが必要です。これを怠ると複雑な要因がからみ次のような症状が発生する場合があります。



フィルターの種類によって入口と出口が違う(ガソリン車フィルター)

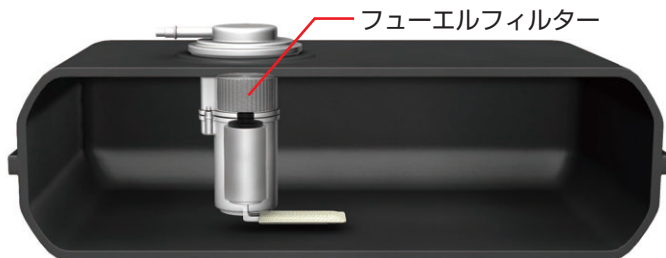
取り付け時には入口と出口を確認してから

フィルターの交換時には、かならず車種、年式、型式にあったものを使用して、燃料の入口(IN)と出口(OUT)を間違えないよう指定どおりに正確に行ってください。



インタンク式燃料フィルター

2000年頃を境にガソリン車のフューエルフィルターは無交換のインタンク式になっています。



インタンク式は無交換